

すべてのステークホルダーの方々に 川崎重工グループのCSRに関する取り組みを ご理解いただける効果的な報告を目指しています。

読者の皆様からいただいたアンケート結果や第三者意見などを踏まえ、
お読みいただく目的等によって選んでいただけるように、下記の3種類の報告を用意しました。



ダイジェスト版と位置付け、主要な取り組み内容をコンパクトにご紹介します。
冊子としては、2011年度版より8ページ削減し、用紙も薄いものにして、読みやすくしました。



冊子の内容に加え、より詳細な内容をご紹介します。
通常のWebでお読みいただくものと、ダウンロード用のPDFファイルを掲載しています。
<http://www.khi.co.jp/csr/index.html> (川崎重工グループWebサイトの「CSR情報」)
<http://www.khi.co.jp/csr/report/2012/index.html> (PDFファイル)

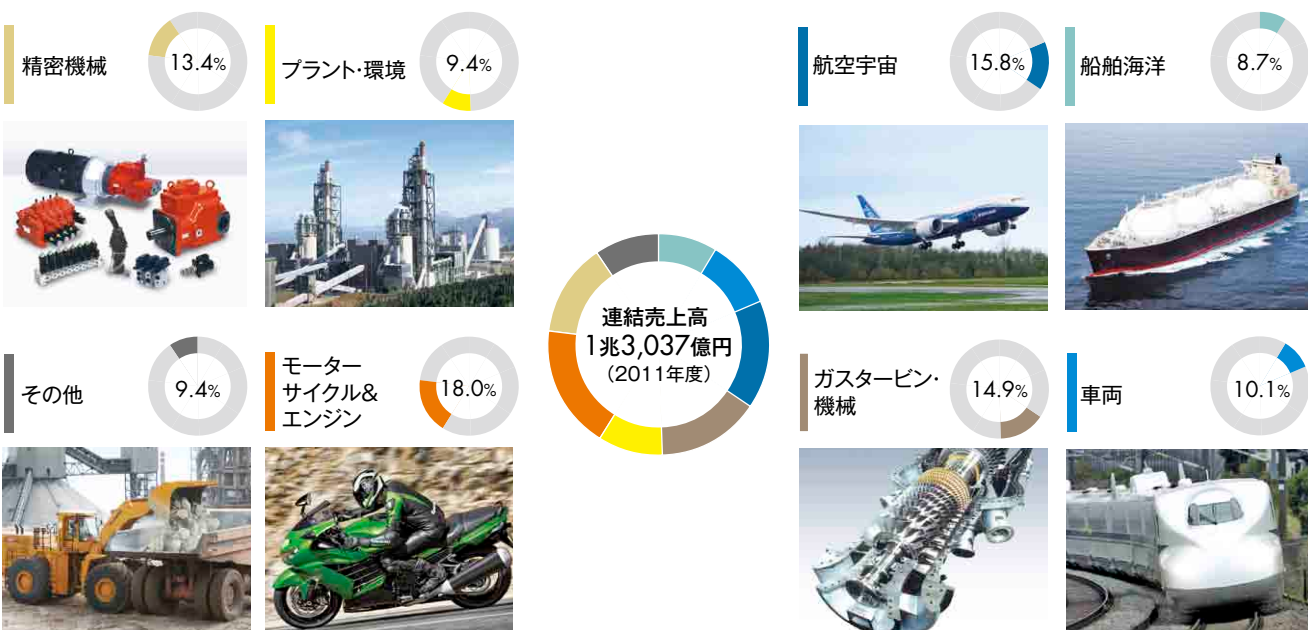


環境情報に特化したPDFファイルです。環境データ集もこちらに掲載しています。
<http://www.khi.co.jp/csr/report/detail/2012/index.html> (PDFファイル)

川崎重工グループの事業概要

川崎重工グループは、川崎重工業を中核企業とし、国内外の100に及ぶ関連企業で構成されています。送り出す製品は、航空機、鉄道車両、モーターサイクル、船舶、エネルギー設備、各種産業機械、土木建設機械など、文字通り陸・海・空にわたっています。これら幅広い事業分野が保有する先端技術をもって、人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献すること—それが、川崎重工グループの理念です。

世界をリードする総合エンジニアリング企業として、また、Kawasakiブランドで知られる、モーターサイクル、ジェットスキー®など、レジャー製品の世界的メーカーとして、川崎重工グループは、その技術とブランド力で、人々と社会の期待に応えていきます。



編集にあたって

当社グループは、1999年から毎年、「環境報告書」「環境・社会報告書」を発行してきましたが、2010年からは「CSR報告書」にタイトルを改めて発行しています。CSR報告書2012では、以下の内容を紹介しています。

- 全体の構成は、「川崎重工グループのCSR」の5つのテーマ(下記)に沿った報告としています。

- ① 事業による価値創造
- ② マネジメント
- ③ 従業員
- ④ 環境への取り組み
- ⑤ 社会貢献

- 以下については特集としてご紹介します。

特集1 震災後1年余。
この間の各種の取り組みを報告します。

特集2 初めての取り組みとして行った有識者との
ダイアログの概要を報告します。

対象範囲

川崎重工グループ全体

対象期間

2011年度(2011年4月~2012年3月)
一部2012年度を含む

発行頻度

年度報告書として毎年1回発行予定

編集・発行元:CSR報告書編集委員会
(編集事務局:CSR推進本部CSR部)

発行責任者:CSR推進本部長

※本報告書制作にあたっては、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年版)」およびGRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン3.1版」を参考にしています。

免責事項

本報告書は、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これら計画・見通し・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。

目次

川崎重工グループの事業概要	01
トップメッセージ	03
川崎重工グループのCSR	05
CSR課題項目と取り組みについて	07
特集1 東日本大震災から1年余が過ぎて —川崎重工グループの取り組み—	09
特集2 川崎重工グループ 第一回有識者ダイアログ	13
Theme 1 事業による価値創造 総合技術力で未来をひらく 価値を創り出します	15
Theme 2 マネジメント 社会の信頼に応えるため、 いつも誠実に行動します	19
Theme 3 従業員 ずっと働きたい職場を みんなで作ります	31
Theme 4 環境への取り組み 「地球が微笑むものづくり」を 追い求めます	36
Theme 5 社会貢献 社会と未来につながる 貢献の輪を広げます	54
第三者意見	56
会社概要/事業所一覧	57